

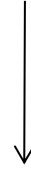
平成25年行政事業レビューシート (環境省)

| 事業名 | 化学物質緊急安全点検調査費 | | 担当部局庁 | 環境保健部 | | 作成責任者 | | |
|--|---|----------|------------|--|------|--------------------------|--------|-------------|
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成25年度～ | | 担当課室 | 企画課化学物質審査室、環境安全課 | | 安全課長 牧谷 邦昭 化審室長 木村 正伸 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 政策・施策名 | 6 化学物質対策の推進 6-1 環境リスクの評価 6-2 環境リスクの管理 6-3 国際協調による取組 | | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 | | 関係する計画、通知等 | - | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 2002年に開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議において合意された「2020年までに化学物質の製造・使用に伴う人及び環境への著しい悪影響を最小化する」との目標(WSSD2020年目標)の達成に向けて、化学物質の安全を緊急的に点検し、国民の暮らしの安心の基盤となる化学物質対策を実施する。 | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | ①化学物質リスク評価等加速化事業:有害性試験の実施が困難な物質についての試験法の検討、予備試験の実施、事業者等への説明会の実施等を行う。また、最新のPRTRデータを用いて、化学物質の地域別データの整備等を行う。②化学物質審査規制の強化に向けた戦略検討事業:平成23年4月より改正化審法が完全施行されたが、副生する有害化学物質への対応等の課題を解決するため検討調査等を行い、戦略的に化学物質審査規制を図る。③アジア諸国の化学物質対策能力向上促進事業:アジア諸国を対象に、化学物質の出口、入口規制を含めた環境政策パッケージについて、情報や手法を伝達するため、実務者を派遣し講習を行う。また、アジア諸国の実務者を招へいし、我が国の取組や関連施設に関する講習を実施する。④化学物質審査規制改革推進費:我が国において世界で最も先端かつ合理的な化学物質管理制度を目指し、化学物質による人の健康及び生態系へのリスクを最小化するとともに、我が国事業者の競争力向上のため、化学物質審査規制法の前回改正法の施行から5年後の見直しに向けた検討を進める。 | | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度要求 | |
| | 予算 の 状 況 | 当初予算 | - | - | - | 100 | 479 | |
| | | 補正予算 | - | - | - | 0 | | |
| | | 繰越し等 | - | - | - | 0 | | |
| | | 計 | - | - | - | 100 | 479 | |
| | 執行額 | | - | - | - | - | | |
| 執行率 (%) | | - | - | - | - | | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | | 単位 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 目標値 (年度) |
| | 化学物質リスク評価等加速化事業のうち、生態毒性試験困難物質の試験法等検討事業について、試験困難物質を選定しその試験方法等についての知見等をもとにまとめるものであり、成果について目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 成果実績 | - | - | - | - | - | - |
| | | 達成度 | % | - | - | - | - | - |
| | 化学物質リスク評価等加速化事業のうち、地域での化学物質の環境リスク低減支援事業について、化学物質審査規制法に基づく優先評価化学物質のリスク評価のために必要な地域別データの整備を行うものであり、成果について目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 成果実績 | - | - | - | - | - | - |
| | | 達成度 | % | - | - | - | - | - |
| | 化学物質審査規制の強化に向けた戦略検討事業について、化学物質審査規制の戦略的強化のため、非意図的に副生する有害物質への対応等を検討するための事業であり、成果について目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 成果実績 | - | - | - | - | - | - |
| | | 達成度 | % | - | - | - | - | - |
| | アジア諸国の化学物質対策能力向上促進事業について、日本型の管理制度の展開及び調和を図るためにアジア諸国を対象に講習等を行う事業であり、成果について目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 成果実績 | - | - | - | - | - | - |
| 達成度 | | % | - | - | - | - | - | |
| 化学物質審査規制改革推進費について、化学物質による人の健康及び生態系へのリスクを最小化するとともに、我が国事業者の競争力向上のための化学物質審査規制制度の改革を図るための検討を行う予算であり、成果について目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 成果実績 | - | - | - | - | - | - | |
| | 達成度 | % | - | - | - | - | - | |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度活動見込 |
| | 化学物質リスク評価等加速化事業のうち、生態毒性試験困難物質の試験法検討事業について、試験困難物質を選定しその試験方法等についての知見等をもとにまとめるものであるため、目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 活動実績 | - | - | - | - | - | - |
| | | (当初見込み) | - | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) |
| | 化学物質リスク評価等加速化事業のうち、地域での化学物質の環境リスク低減支援事業について、化学物質審査規制法に基づく優先評価化学物質のリスク評価のために必要な地域別データの整備を行うものであるため、目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 活動実績 | - | - | - | - | - | - |
| | | (当初見込み) | - | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) |
| | 化学物質審査規制の強化に向けた戦略検討事業について、化学物質審査規制の戦略的強化等のため、非意図的に副生する有害物質への対応等の検討を行う事業であるため、目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 活動実績 | - | - | - | - | - | - |
| | | (当初見込み) | - | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) |
| | アジア諸国の化学物質対策能力向上促進事業について、日本型の管理制度の展開及び調和を図るためにアジア諸国を対象に講習等を行う事業であるため、目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 活動実績 | - | - | - | - | - | - |
| (当初見込み) | | - | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| 化学物質審査規制改革推進費について、化学物質による人の健康及び生態系へのリスクを最小化するとともに、我が国事業者の競争力向上のための化学物質審査規制制度の改革を図るための検討を行う予算であるため、目標を数値化して設定し、評価することは困難。 | 活動実績 | - | - | - | - | - | - | |
| | (当初見込み) | - | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| 単位当たりコスト | - | | 算出根拠 | | | | | |
| 26年度内訳予算 | 費目 | 25年度当初予算 | 26年度要求 | 主な増減理由 | | | | |
| | 環境保全調査費 | 100 | 479 | 「新しい日本のための優先課題推進枠」389 | | | | |
| | 計 | 100 | 479 | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | | | | |
|-------------------------|--|-------|----------|----|---|---|
| | 項目 | | | 評価 | 評価に関する説明 | |
| 国費投入の 必要性 | 広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。 | | | ○ | 化審法については、平成21年5月の法改正の際に、附則で施行後5年を経過した場合に見直す規定があり、平成25年度から検討調査等を行い化学物質審査規制の強化を図ることは、国が実施すべき優先度の高い事業。 | |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | | | ○ | | |
| | 明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。 | | | ○ | | |
| 事業の 効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | | | ○ | 一般競争入札によることとしている。 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | | | — | | |
| | 単位当たりコストの水準は妥当か。 | | | — | | |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | | | — | | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | | | — | | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | | | — | | |
| 事業の 有効性 | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | | | — | — | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | | | — | | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | | | — | | |
| 重複 排除 | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | | | — | — | |
| | 事業番号 | 類似事業名 | 所管府省・部局名 | | | |
| | | | | | | |
| 点 検 結 果 | 持続可能な開発に関する世界首脳会議において合意された「2020年までに化学物質の製造・使用に伴う人及び環境への著しい悪影響を最小化する」との目標(WSSD2020年目標)が達成できるよう、必要な検討を進め適正な執行に努める。 | | | | | |
| 外部有識者の所見 | | | | | | |
| — | | | | | | |
| 行政事業レビュー推進チームの所見 | | | | | | |
| — | | | | | | |
| 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 | | | | | | |
| — | | | | | | |
| 備考 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | | | | |
| | 平成22年 | — | 平成23年 | — | 平成24年 | — |

平成25年度予定

環境省
100百万円



一般競争入札・請負

請負事業者
100百万円

資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する) (単位:百
万円)